

めざそう、持続可能な未来を
かわごえ誠一オフィシャルサイト
www.kawagoeseiichi.com

葛飾区議会レポート



葛飾区議会議員 かわごえ誠一

かわごえ誠一 プロフィール

●1963年3月川崎市生れ ●立石在住34年 ●防災士
●PTA、子育てネットワーク、図書館友の会、三番瀬保
全活動などに参加 ●都議秘書を経て2013年区議
選初当選 ●2021年三期目当選 ●かつしか区民連
合副幹事長 ●区議会所属: 建設環境委員会委員長
議会運営委員会・区民サービス向上対策特別委員会

◆令和4年区議会第一回定例会報告◆

◆令和4年区議会第一回定例会が2月16日から3月30日の43日間の会期で開かれました。

■令和3年度第9次補正予算 93億1,955万円議決

◆今定例会では令和3年度第9次補正予算93億1,955万円が上程されました。◆地球温暖化対策推進経費や新金線整備基金などへの積み立て、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施の事業の減額などの補正予算が所管委員会で審議され3月1日(火)の中間本会議で議決されました。

■令和4年度一般会計当初予算 2,120億円議決

◆また、前年度より6.3%増の過去最大となる令和4年度一般会計当初予算2,120億円が上程されました。◆歳入面では引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるものの、景気の持ち直しへの期待により、特別区税や特別区交付金など一般財源の増が見込まれています。◆歳出面では子育て施設への運営費助成等の扶助費、小・中学校の改築、駅前市街地再開発、前期実施計画での事業などの増加が見込まれています。◆この当初予算案は予算審査特別委員会での審査を経て3月30日(水)の最終本会議で議決されました。

■今年区制90周年の年、記念事業の検討を開始

◆今年2022年は区制施行90周年となります。予算審査特別委員会で90周年を機とした地域の歴史を継承するための取組みを求め、博物館での展示や記念の事業などが検討されることになりました。

■「ウクライナ侵攻の中止を求める決議」を議決

◆2月24日に開始されたウクライナ侵攻を受け、3月1日(火)の区議会本会議において「ロシア連邦によるウクライナ侵攻の中止を求める決議」が急遽上程され、即日に全会一致で議決されました。



最終本会議で委員会報告をするかわごえ

葛飾区議会議員

かわごえ誠一

タウンミーティング 2022

主催: かつしか区民連合

オンライン学習会のお知らせ

テーマ: 見えない子どもの貧困・格差を考える

～支援の届かない子どもたち・社会的課題として子どもの貧困を捉える～

と き: 令和4年 **5月18日** (水) 19:00～21:00

◆オンライン開催 定員50名 ◎申し込み〆切5月14日

※事前に右のQRコードを読み取り Google フォームからお申し込み下さい。
参加者に後日 zoom URL をお送りします。定員になり次第〆切らせていただきます。



申し込みフォーム
QRコードを読み取り
お申し込み下さい。



講師: 李炯植さんプロフィール
●特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事 ●東京大学教育学部卒業 ●同大学院教育学研究科修了 ●2014年に団体設立後、これまでにのべ9,500人以上の困難を抱えた子どもへの無償の学習支援や居場所支援を実施 ●全国子どもの貧困・教育支援団体協議会副代表理事

1) 基調講演: 全ての子どもに学びを!

～Learning for All (ラーニングフォーオール) が子どもの学びに寄り添う理由～

講師: 李炯植さん 特定非営利活動法人 Learning for All 代表理事

2) 報告: コロナで浮き出た課題～子ども食堂では見えなかった「貧困」の深部

報告: 緒方美穂子さん NPO 法人レインボーリボン / かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク代表

3) 報告: 学校と様々な支援をつなげる専門職の立場から

報告: 中島 淳さん 葛飾区教育委員会 主任スクールソーシャルワーカー

参加費無料

◆貧困など様々な家庭的課題を抱え、学ぶ環境が整わない子どもたち。その姿は隠され、なかなか見えてきません。しかし社会への入口で格差が生じているのは明らかな現実です。
◆子どもは未来の社会を担う大切な人材です。自己責任と切り捨てず、社会全体で支えることが将来の社会を豊かにすることにつながると信じています。◆今回は NHK スペシャルなどで報道された Learning for All の李代表から困難を抱えた子どもの現状と、学びを支援する意味を伺います。◆また、スクールソーシャルワーカーから学校での支援の現場を、子ども食堂から地域から見える課題をそれぞれ伺います。◆そして、どのような社会を目指すのか考えたいと思います。オンラインでの開催といたします。ふるってご参加ください。

■ 連絡・問合せ先 ■ かわごえ誠一 090-2932-7315 《e-mail》 info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト <https://www.kawagoeseiichi.com>



■令和4年葛飾区議会 第一回定例会 予算審査特別委員会総括質疑報告



◆去る3月4日に令和4年度予算審査特別委員会総括質疑が行われ、かつしか区民連合を代表し、かわごえ誠一が登壇しました。今号では一部概要を報告します。なお、総括質疑の状況は葛飾区議会のホームページで動画が公開されています。右のQRコードからご覧ください。

1) 公文書管理について

かわごえ 公文書管理には専門性が求められるため、第三者の目を入れる必要がある。公文書を管理する専門組織の導入が必要と考えるのがいがかが。

答：総務部長 第三者委員会の設置は必須である。公文書管理条例により公文書管理委員会の設置を検討する。

かわごえ 災害時の記録を後世に残すのは、今後の危機管理のために重要だ。現在の新型コロナウイルスへの対応や東日本大震災、台風19号への対応など災害時の文書は特別に指定し、保存すべきである。

答：総務部長 コロナ本部や台風19号などの文書は歴史資料として長期保存文書とする。重要な文書として指定し、その後、歴史的公文書に指定する。

2) SDGs 推進計画について

かわごえ 「誰一人取り残さない」区政に向け、フォローアップが重要だ。SDGs 実現のため潜在化している課題を明確化する必要がある。国の地方創世 SDGs ローカル指標リストなども参考にしながらバックキャストの導入をすべきだ。

答：SDGs 担当部長 計画の進捗報告は一定の指標を設ける検討をする。国のローカル指標リストも参考にしながら、区の実情にあった指標を検討する。

かわごえ 再生可能エネルギーの導入の加速化・具体化の取組みを進めるべき。

答：環境部長 区施設の再エネ100%に取り組む。4月から奥戸総合スポーツセンターと区総合庁舎にエネオクを導入し、他の区施設への拡大を検討する。

かわごえ ゼロエミッション実現には地域循環共生圏が重要だ。本区と防災・包括協定を結んでいる自治体と連携を進め、カーボンオフセットなど検討を！

答：環境部長 五泉市や鹿角市などをはじめ、本区と包括協定を結んでいる18自治体とのカーボンオフセットや再エネ電源の確保を検討する。

かわごえ 学校教育でESD・SDGsが各教科の教育課程に織り込まれていることを明確にし、教育委員会として単元に結びつける指針などを導入すべき。

答：学校教育担当部長 令和四年度から教育課程の中でSDGsを特色ある教育活動に位置付ける。各学校で教員が指導計画を策定する際は、SDGsの観点で見直しをし、学校の実態に合わせて実施していく。

かわごえ 中学校で制服が原因で学校に行けない子どももいる。子どもの人権課題として教育委員会として中学校でのジェンダーレス制服の導入を進めよ。

答：学校教育担当部長 制服選択制を区立中学校三校で導入する。学校に制服の見直しを課題として示してきた。学校での検討が進むように働きかけていく。

かわごえ 今年10月に労働者協同組合法が施行されるが準備をすすめるべき。

答：政策経営部長 協同労働は新たな非営利活動の一つと考える。社会福祉協議会の地域貢献活動センターの窓口で相談できるよう話し合いを進めていく。

かわごえ 協働を進める上でもデジタル化が重要だ。困難を抱えた方の支援も視野に入れ、地区センターなど公共施設へのWi-Fi環境整備を進めるべきだ。

答：デジタル推進担当部長 新年度から地区センターなど各施設でモバイルルーターの貸し出しを試行し、結果を踏まえて無線LANの整備を検討する。

3) 子ども・若者施策の推進について

かわごえ 国の(仮称)こども家庭庁や都の子ども局に対応できる組織の構築を。

答：政策経営部長 関係部署と連携し、効果的な組織体制について検討をする。

かわごえ 令和元年に子ども・若者計画が策定されてから様々な社会的な変化があった。課題を丁寧に検証し、今後子ども・若者計画を見直すべきだ。

答：子育て支援部長 子ども・若者計画にひきこもり、ヤングケアラーなど新たな課題の位置づけをし、今後子ども・子育て支援事業計画と一体化で検討する。

かわごえ 若者支援の中で高校生世代の支援の難しさがある。高校中退した時、区では把握できないが、高校生世代への支援のため都と区の連携をすべきだ。

答：子育て支援部長 区の子ども・若者支援地域協議会の専門部会に東京都教育庁で不登校などを所管する地域教育支援部に参加を依頼し連携をしていく。

かわごえ 高卒中退した後、高卒資格の取得へのハンディが生じ、将来の貧困の連鎖に陥る可能性が高くなる。ひとり親世帯など高卒認定取得への支援を。

答：子育て支援部長 高卒認定取得への支援についてはひとり親世帯に限らず、全体として若者の充実につながる効果的な支援に向けて検討する。

かわごえ ヤングケアラーの支援体制について区内での連携組織を作るべきだ。

答：子育て支援部長 各部横断的な組織を検討し、機能的な仕組みを準備する。

かわごえ ヤングケアラーは様々な背景から相談窓口を作っても相談につながらない現実がある。まず、ヤングケアラーが気軽に立ち寄れる居場所や、ピアサポートなどの当事者活動への支援を検討をすべきだ。

答：子育て支援部長 ヤングケアラー当事者どうしや身近な信頼できる大人との関係作りが重要だ。地域の活動と連携し効果的に取組めるよう検討する。

4) 住宅基本計画と空き家活用について

かわごえ 空き家活用のためのニーズの把握が必要だと思えるのがいがかが。

答：都市整備部長 町会などに届いているニーズを集約し、窓口の設置も含め、行政としてどうニーズを把握・集約していくか検討する。

かわごえ 空き家活用の先行事例を共有する情報交換などを企画すべきだ。

答：都市整備部長 空き家活用のヒアリングをおこない、成功事例については所有者の理解が得られればHPなどで空き家解決の実績紹介などを検討する。

5) 地域の状況を見据えた学校改築について

かわごえ 新設される学校環境整備担当課長の役割と学校適正規模について伺う。

答：学校教育担当部長 学校環境整備担当課では児童生徒数の推移、施設の現況を踏まえ学校適正規模の方針を検討し、令和五年の次期改築校選定資料とする。小規模・大規模校のメリット・デメリットも含め本区での適正規模を検討する。

かわごえ 単独では建て替えの難しい学校もある。積極的に近隣の学校の合築に取組むことを求める。公共施設などとも積極的に複合化を進めるべき。

答：施設部長 建て替えが難しい学校は把握している。学校は地域の核となる重要な施設であり、教育環境の充実を第一に合築は地域の要望などを勘案し判断する。施設の複合化は地域特性や行政重要を鑑み、葛飾区公共施設等経営基本方針に基づく施設の効果的・効率的な活用の観点も踏まえて検討する。

◆この夏に予定されている参議院選挙に向けて全国各地を飛び回りお忙しい中、しば慎一さんが葛飾区に立ち寄っていたのを見ました。かわごえ誠一は、しばさんと対談しました。



しば慎一さんと対談するかわごえ誠一

かわごえ しばさんはJ.P.労働組の全国の中央副執行委員長として活動をされてきたことが、今回国政へ挑戦する決意をされたことと、郵便サービスへの思いを伺いたいと思います。

しば 全国津々浦々どこでもサービスが届く「郵便局ネットワーク」は大切な社会の基盤だと思います。利用者の立場、働く者の立場に立ち、ユニバーサルサービスとして郵便サービスを守っていくことが地域社会への貢献になると思っています。

かわごえ 私は不登校の子どもたちへの支援をしてきましたが、しばさんも不登校だったことがあると伺いました。悩んでいる子どもたちには一言だけでもいいですか？

しば はい、私も不登校だった時期があります。その後、郵便局に就職し、職場の先輩から声をかけられ、労働組合に参加しました。そこで多くの皆さんに出会い、支えられ、育てていただき、今の自分があります。学校に行けなくてもその後、力を出せる場所があると思えます。

かわごえ ありがとうございます。誰一人取り残さない社会を目指すため、ぜひ頑張ってください。ぜひ、共に頑張りましょう。

J.P.労働組中央副執行委員長 しば慎一さん

立憲民主党より 参議院全国比例公認決定

しば慎一さんとかわごえ誠一

問合せ 連絡先

ご意見・ご要望をお寄せ下さい。 **かわごえ誠一 web**
かつしか区民連合
〒124-0012 葛飾区立石 5-13-1 葛飾区議会内
電話 03-3695-1111 (代) FAX 03-3697-0137

https://www.kawagoeseiichi.com
かわごえ誠一 連絡先 〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18
携帯電話 090-2932-7315
e-mail info@kawagoeseiichi.com